

平成26年度 部局別施策展開方針計画書の見方

平成26年度 企画政策部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05	政策展開の方向性						
都		市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。駅を中心としたぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方でもだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。					
市	平成26年度に向けての展開方針 (方針と重点事業の計画等を記載)						
基	05-01 市街地整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい「都市計画マスタープラン」に基づく個別計画により、駅を中心とした集約型の都市構造へと徐々に進んでいきます。そのため、平成26年度は多様な主体や関係機関との協議を行います。 ・高齢者の住み替えを支援し子育て世代の移住を進めるため、住み替えニーズの把握強化と住み替え先の確保に向けた取組を進めます。そのため、平成26年度は大麻地区における相談窓口の本格的な運営を開始します。 					
盤	05-02 交通環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の減少に伴う減便や路線の廃止などが発生しているため、駅を中心としたバス路線の活性化の向上が求められています。そのため、平成26年度は路線調査や実証実験に向けた協議の推進を行います。 					
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	50.0				↑
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	50.0				↑
	企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「大麻地区住環境活性化事業」 「やすらぎ・生活機能が整っている「まち」と感じる市民割合	%	66.0				↑
	「公共交通利用促進対策事業」 「利便性向上や利用促進等のために行った事業数	件	3				↑

○まちづくり政策
「えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)」の【まちづくり政策】について、部毎の展開方針を記載しています。

○政策展開の方向性
「えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)」に記載の内容を転記しています。

○展開方針
平成26年度の各部の展開方針について、当該部が関係している「取組の基本方針」毎に記載しています。

○初期値ほか
初期値は平成25年度の実績値または見込値などを記載しています。26年度以降の欄は、実績値を記載していきます。

○個別計画・重点事業
各部において策定している個別計画や、主要な事務事業について、政策毎に記載しています。

○えべつ未来戦略
各部における「えべつ未来戦略」の関連事業を記載しています。

○政策部毎に関係する【まちづくり政策】について01~09の順に記載しています。

○政策の成果指標
政策の進み具合を表しています。

上段
個別計画や事業の名称
下段
進捗状況を測る指標名

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦略1 ともにつくる協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■1A 多様な主体が協働するまちづくり 「協働を知ってもらう啓発事業」(政策調整課) 「協働を担う人材育成事業」(企画課) ■1B 大学が活躍するまちづくり 「大学連携調査研究助成事業」(企画課)
戦略2 えべつの将来を創る産業活性化	<ul style="list-style-type: none"> ■2C 雇用の創出と人材育成の支援 「働きたい女性のための就職支援事業」(政策調整課)
戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	
戦略4 えべつの魅力発信シティプロモート	<ul style="list-style-type: none"> ■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「協働を知ってもらう啓発事業」(政策調整課)【重複】 「えべつシティプロモーション事業」(広報広聴課)

○戦略1~4に関して
平成26年度にその部局が関連事業を実施する予定がある場合に、該当する戦略プロジェクト名、事業名、担当課等の名称を記載します。(関連事業が無い場合は空欄)

3. 企画政策部の資源

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歳出予算額 (千円)	一般会計(A)	10,000	12,000			
	特別会計(B)	0	0			
	合計(A+B+C)	10,000	12,000			
正職員人件費 (千円)	人工(a)	25	25			
	平均単価(b)	6,000	6,000			
	人件費(a×b)	150,000	150,000			
総額		160,000	162,000			

○各部の資源
各部の資源として、予算規模及び職員人件費の推移を記載しています。